

守山記生先生年譜・著作目録

略年譜

一九九八年四月

二〇〇六年三月

奈良大学大学院文学研究科文化財史料学専攻兼任

奈良大学文学部定年退職

一九四〇年四月三日

京都市に生まれる

一九五九年三月

京都府立朱雀高等学校卒業

一九六一年四月

京都大学文学部入学

一九六七年三月

京都大学文学部史学科西洋史学専攻卒業

職歴

二〇〇六年四月

奈良大学名誉教授

二〇〇六年四月から

奈良大学文学部非常勤講師

二〇〇六年一〇月まで

奈良大学通信教育部文化財歴史学科非常勤講師

一九六七年四月

現奈良大学附属高等学校教諭

一九七六年四月

奈良大学文学部助手

一九八〇年四月

奈良大学文学部講師

一九八七年四月から

奈良大学教員在外研修員として、ベルギーのリエージュ大

一九八八年三月まで

学に留学

著書

『北フランス・ベルギー中世都市研究』

一九八九年四月

奈良大学文学部教授

近代文藝社、一九九五年一二月

『フランドル伯の領域君主領の形成 文部省科学研究費
補助金研究成果報告書 科研費課題番号 8610398』

一九九九年三月

訳書

ガルベール・ド・プリュージュ著、守山記生訳『ガルベール

ルの日記―中世の領域君主と都市民―』

溪水社、一九九八年三月

共著

藤岡謙二郎他編集『講座考古地理学 歴史的都市』三、

学生社、一九八五年一月

関西中世史研究会編『西洋中世の秩序と多元性』

法律文化社、一九九四年五月

奈良大学文学部世界遺産コース編『世界遺産と都市』

風媒社、二〇〇一年六月

アンドレ・ジョリス著、瀬原義生監訳、守山記生他訳『地

域からみたヨーロッパ中世―中世ベルギーの都市・商

業・心性―』

MINERVA 西洋史ライブラリー六一、ミネルヴァ

書房、二〇〇四年一月

論文

「形成期フランス・コミューン都市の軍事的特質につい

て―フランス封建王政との関係をめぐって―」

『奈良大学紀要』二号、一九七三年二月

「中世都市カンブレ―前史の一考察」

『奈良大学紀要』四号、一九七五年二月

「都市コミュニケーションの発展―サン・カンタンのコミュニケーション

証書の分析を通じて―」

『奈良大学紀要』六号、一九七七年二月

「神の平和」運動の展開―ランス教会地方・アマリアン」

「コルビー間の動向を主として―」

『奈良大学紀要』八号、一九七九年二月

「中世都市ル・マンのコミュニケーション運動」

『奈良大学紀要』一二号、一九八三年二月

「ベルギーの中世都市」

藤岡謙二郎他編集『講座考古地理学 歴史的都市』

三、学生社、一九八五年一月

「成立期の中世都市コミュニケーション運動（上）」――主として北フランスの場合――

『奈良大学紀要』一七号、一九八九年三月

「二世紀初期のフランドルにおける政変とエランバルド一族」

『奈良史学』一〇号、一九九二年二月

「成立期の中世都市コミュニケーション運動（中）」――主として北フランスの場合――

『奈良大学紀要』一二号、一九九四年三月

「二世紀初期のフランドルにおける政治的変動」

関西中世史研究会編『西洋中世の秩序と多元性』

法律文化社、一九九四年五月

「成立期の中世都市コミュニケーション運動（下）」――主として北フランスの場合――

『奈良大学紀要』一三三号、一九九五年三月

「西ヨーロッパ中世都市の形成」

『奈良史学』一三三号、一九九五年二月

「アミアン―中世都市と大聖堂―」

奈良大学文学部世界遺産コース編『世界遺産と

都市』風媒社、二〇〇一年六月

「一二七〇～二八年のフランドルにおける政変とフランス国王の対応」

『奈良史学』一九号、二〇〇一年二月

「紀元千年頃の西欧社会の歴史的展開について―ラウル・グラベールとその著を中心に―」

『奈良大学総合研究所報』一三三号、二〇〇五年三月

研究ノート

「中世初期フランドル地方の都市」

『比較都市史研究会会報』通巻六一号、一九八一年七月

史料紹介

「ノジャンのギベールの回想録（一）」――中世都市ランの

「コミュニケーション運動」

『奈良史学』三号、一九八五年二月

「ノジャンのギベールの回想録（二）——中世都市ランの

「コミュニケーション運動」

『奈良史学』四号、一九八六年二月

概要報告

「二二七〜二八年のフランドルにおける政変とフラン

ス国王の対応」

『奈良大学総合研究所報』一〇号、二〇〇二年

三月